

うえだ

平成24年

2.1

No.141

CONTENTS

- 2 市政ルポ
「真田家ゆかりの《知略》で目指す
市民と広域圏の幸福度向上」
- 8 上田城の歴史
- 10 情報びっくあっび
- 12 情報あ・ら・かると
- 15 キラリ☆輝くこどもたち！
- 19 情熱地域
- 20 四ツ葉スケッチ
- 22 成人式
- 24 読者通信



真田家ゆかりの《知略》で目指す 市民と広域圏の幸福度向上

真田三代以来の中心都市・上田の 21世紀的発信

今年7月27日、長野県上田市・東御市・青木村・長和町・坂城町・立科町の2市3町1村による「上田地域定住自立圏形成協定」が締結された（上田市による中心市宣言は2月3日）。少子高齢化に伴う人口減少という不可避のトレンドを受け、中心市と周辺市町村が定住化促進という目的の下に広域都市圏を形成。中心市がその広域都市圏に必要な都市機能を整備し、周辺市町村が広域圏に必要な生活機能を確保するという役割分担を行いながら、互いに連携協力しつつ地域全体の人口定住化を目指す定住自立圏構想は、現在、全国各地で続々と形成されている（平成23年10月12日現在で72市が中心市宣言を行い、61圏域が定住自立圏を形成）。

折しも今年10月には、最新の国勢調査（平成22年実施）の結果が発表され、前回（平成17

年実施）より国内に住む日本の人口（外国人居住者を除く）は37万人強も減少したことが分かった。人口減少化の現象がいよいよ顕著になったともいえるだろう。

「定住自立圏に限らず、少子高齢化などに伴って激化する一方の都市間競争を背景に、今後はさまざまな目的を持った広域圏的ネットワークの形成がさらに重要になっていくと思います」

そう語るのは母袋創一・上田市長である。

「上田市はこれまでも上田地域（上田市・東御市・青木村・長和町・坂城町）の中心都市として推移してきました。上田市単体の人口は約16万人ですが、上田地域全体に広げれば約22万人となります。また歴史的に文化圏を共有してきた佐久地域を併せた東信地方（上田・佐久地方）全体にまで広げると、約40万人もの広域圏ということになります。そうした面的な意味での広域圏とは別に、一定の目的意識の下に、離れた地域の都市同士がネッ



昨年発行された全国市長会の機関誌「市政12月号」で、上田市を現地取材した記事が掲載されました。

「市政」は都市行政関係者向けの機関誌ですが、ルポライターから見た上田の取組が客観的に記述されていることから、市民の皆さんにもご覧いただきたく、広報うえだでお知らせします。

なお、過去の「市政」についても全国市長会のホームページからご覧いただけます。

<http://www.toshikaikan.or.jp/shisei/index.html>

トワークを形成するというようなケースも、今後はどんどん増えていくのではないでしようか（母袋市長）

そうした動きは90年代から盛んになった各種サミットの開催にも見られる。上田市が中心的な位置付けで、平成10年から全国持ち回り開催されてきた「真田サミット」は典型的な事例だ。上田を中心とする信州を主舞台に活躍し、戦国武将の中でもよく知られる真田幸隆・昌幸・幸村の真田三代にゆかりの自治体で構成する真田サミットには、秋田県由利本荘市、宮城県白石市、群馬県沼田市、長野県



長野市・上田市、大阪府大阪市、和歌山県九度山町など全国12市町村が参加した。

また真田幸村が大坂の陣の折に大活躍した縁で、上田市と大阪府は平成18年、「上田城と大阪城との友好城郭の交流提携」を結び、幅広い活動を展開している。さらに幸村の兄・信之が城主を務めた沼田城がかつてあった群馬県沼田市と上田市は、上田市から群馬県吾妻郡・利根郡を経て沼田市へとつながる街道沿いの自治体が昨年から連携を開始した「真田街道推進機構」を通じ、今後、広域観光や市民の文化交流などの企画を積極的に展開していく予定だ。

めとする「真田三代」
大きな期待を寄せて
いるのが、上田市
民有志でつくる
「NHK大河ドラマ
日本一ひともといちのこゑの兵 真田
幸村公 放映の実
現を願う会」(平成
21年)の活動で
ある。

「真田幸村公放
映の実現を願う会
は、幸村公の大坂
城入城400周年
となる平成26年ま
でに、幸村公を主
役とするNHK大

河ドラマ放映の実現を目指す団体で、真田家の家紋である六文銭にちなんだ66万6666人の署名を集めるべく運動しています。私が上田市民の代表として会長を務めさせていただいておりますが、署名は1年9カ月程度で60万人を超えるスピードで集まり、今、大いに盛り上がっているところです（母袋市長）

大坂夏の陣で自ら率が率いる「真田の赤備え（武具を赤で統一した部隊）」が大活躍したことににより、「日本一の兵」と敵味方から称賛された真田幸村。その幸村が主人公の大河ドラマが実現すれば、武田信玄・織田信長・豊臣秀吉・徳川家康などの名高い戦国大名と絡みながら大活躍した真田三代が真田十勇士も含め改めてクローズアップされることは確実だ。これまでご紹介してきた「ゆかりの自治体」の多くが、ドラマの舞台となる可能性が高い。期待が高まるのも当然だろう。

ちなみに60万人分の署名は、上田市民や周辺市町村の市民、上田市を訪れた観光客や全道府県にわたる真田ファンからの直接署名に加え、世界からもインターネットで寄せられている。「ゆかりの自治体」からの協力も含め、真田三代という上田市の「宝」がメディアとなって形成された全国ネットワークの、まさにど真ん中に上田市がいるという形が自然に連想されてくる。

ちなみに60万人分の署名は、上田市民や周辺市町村の市民、上田市を訪れた観光客や全都道府県にわたる真田ファンからの直接署名に加え、世界からもインターネットで寄せられている。「ゆかりの自治体」からの協力も含め、真田三代という上田市の「宝」がメディアとなつて形成された全国ネットワークの、まさにど真ん中に上田市がいるという形が自然に連想されてくる。

市民が集い文化芸術の薫る
新市街地の形成

市政ルポの取材を通してここ数年、各地域



における「元氣な中核的都市」の共通点として強く感じるのは、流通大手や飲食チェーンの集中的な進出の構図である。その背景にはさまざまな「商業的判断」が複雑に絡み合っているはずだが、一つだけ明確に言えるのは、現代の流通大手や飲食チェーンは他地区への進出に当たって非常に厳密なマーケティングを敢行しているということだ。

かつてのように、単に出入の多そうなどころへ進出するのではない。国の中長期的な地方政策における当該都市のエリア内での位置付け、当該都市のマグネット的資質(将来性)の有無、市民の生活水準の推移、地価の推移、エリア内における当該都市の多角的な存在感(周辺都市からの通勤先になっている比率や、周辺都市も含めた休日の人流など)の比較など、実に多角的に検討される。

これらの要件はまさに、前述した定住自立圏構想における「中心市」に求められている各種要件と、いろいろな部分で重なっている。

上田市の中心市街地につながる上田駅「お



交流・文化施設鳥瞰図(合成)

城口(上田城側)駅前は平成15年末、構想発表以来約20年間の期間を経て第二種市街地再開発事業が竣工。長野新幹線も停車する上田駅と旧来からの中心市街地は、4棟の新築ビル(商業・業務・公益施設、ホテル、駐車場など)と新しい駅前広場を中心に構成される近代的街並みが連続することで、面的につなされることとなった。

これは「広域圏・上田地域の玄関口としての顔づくり」(母袋市長)事業としても実施されたわけだが、この事業の完成により、例えば流通大手や飲食チェーンなどの民間業者から見た、広域圏の中心としての上田市の商業的価値はさらに高まったものと思われる。

さらに上田駅の「温泉口」(千曲川・別所温泉方面側)では、旧J-T工場跡地を活用して、商業地区(流通大手など)、公共地区(大小ホールや美術館と緑地広場など)

の交流・文化施設、上田警察署)、住宅地区、公園などからなる新市街地建設のための土地区画整理事業(J-T開発地整備計画約20ha)が実施された。

取材時には流通大手による大型ショッピングセンターが既にオープンし、住宅街が半ばまで完成しているのを見ることができたが、J-T開発地整備計

画の中核は何といってもこれから建設が本格化する、延べ床面積約1万7000㎡の交流・文化施設、約1万7000㎡の緑地広場、約400台収容の駐車場などからなる交流・文化ゾーンの存在だろう。

とりわけ音楽・演劇などの本格的公演や大規模コンベンションも可能なホール(大ホールは基本1530席・最大1650人収容、小ホールは320席)や、地域の未来を担う子どもたちの感性を育む「子どもアトリエ」の設置などで特徴を持たせた美術館などが一体化した交流・文化施設(名称は未定)は、上田地域の文化・芸術施設の拠点であるとともに、地域の魅力と活力を生み出す一つのシンボル施設と位置付けられている。

「ご承知のように文化・芸術というのは、それに接する人々の感性を磨くだけでなく、生きる上での支えにもなるものです。そうした市民が増えれば増えるほど、地域の持つポテンシャルは活性化していきます。市民生活が生き生きとしたものになり、交流の機会が増えることなどで、経済活動なども含めた地域の構成要素全般が動き始めるからです」(母袋市長)

駅に隣接した地区においてこのように大きな役割が期待される交流・文化施設、大型ショッピング施設、新しい住宅街などで構成されるJ-T開発地の建設プロジェクトと並行して、開発地と新幹線を挟んで反対側の上田



上田城千本桜まつりでにぎわう上田城跡公園



世界的照明デザイナー・石井幹子氏プロデュースによる上田城&夜桜ライトアップ

城跡公園とを結ぶ道路の新設工事も着々と進められている。J-T開発地の敷地の端は千曲川に面しており、新設道路が完成すれば、上田市の2つのシンボルである上田城から千曲川にまで至る新旧の中心市街地を併せた、非常に広大かつ景観的にも機能的にもメリハリの利いた中心市街地が現出することになる。

また上田駅を起終点とするローカル鉄道・別所線は千曲川を渡って、上田市のもう1つのシンボルであり、真田三代も愛した別所温泉までつながっている。上田駅を挟んだ広大な中心市街地が完成すれば、別所温泉の奥座敷的な存在感がより高まることも期待される。

さらに別所温泉の先を南進すれば、松本市と接する美ヶ原高原に至る。逆に上田城跡公園から北進して行けば、長野市や須坂市、群馬県と接する菅平高原につながる。ここで改めて上田市の地図を見てみると、菅平高原を北端とする北側(上田城跡側)の市域も美ヶ



存続のための公的支援が続く別所線(千曲川)



開湯1200年の歴史を誇る別所温泉



大正浪漫風のいでたちで観光客を迎える別所温泉駅の駅長さん

智将・真田幸村の魅力に 急増する女性観光客

ところで先に触れたローカル鉄道・別所線

原高原を南端とする南側(別所温泉側)の市域も、全体的に多くの史跡や温泉が満遍なく配置されている。上田地域定住自立圏に参加した東御市をはじめとする各自自治体が、上田市の東西にバランスよく位置しているのに分かる。

長野新幹線やしなの鉄道(旧信越本線)、さらに千曲川はその上田市域のほぼ真ん中を貫いている形だが、上田城跡公園から千曲川に至るエリアは市域のど真ん中にある。つまり駅を挟んで現出する広大な中心市街地の位置取りは、上田市のど真ん中であると同時に、上田地域および上田地域定住自立圏においてもど真ん中にあることが分かる。巧まらずして絶妙な位置取りになっているのだ。

は、風光明媚(めいび)を絵に描いたような信州の山里の風景の中を、別所温泉までのんびり走るため観光客に非常に人気の高い路線である。しかし、車社会の進展などもあって、やはりどうしても乗降客数に限りがある。おまけに平成12年・13年に発生した京福電鉄越前本線(現・えちぜん鉄道)の列車衝突事故を契機に行われた国の安全性緊急評価事業の結果、改善の必要性が指摘された。それによって多額の設備投資が必要となり、存続の危機に揺れた。

この危機に際して上田市は平成16年度以降、公的支援を継続実施している。同時に関係25団体が結成した再生支援協議会による再生支援計画も実施され、「乗って残そう! 別所線」を合言葉に、存続を願うさまざまなイベントなどが現在も積極的に行われている。

「営利事業として見れば、まだまだ厳しい状況は続いています。別所線は大正10年から観光客を別所温泉に運び続けてきており、観光を主要産業の一つとする上田市のシンボルでもあります。そういう意味からも存続に向けて、今後でもできる限りの支援を実施していくつもりです」(母袋市長)

別所線再生支援協議会の別所線存続支援活動や利用促進への取り組みは国土交通省「平成20年交通関係環境保全優良事業者等大臣表彰」を受

賞。関係各位の存続支援への思いの強さがしのばれる。

別所線はまた、実写映画はもちろん、アニメ映画(平成21年公開の映画『サマーウォーズ』)においても人気の舞台となっており、今後の再生支援が注目される。

別所線だけではない。鎌倉時代から近代に至るまでの数多くの歴史文化遺産が現存し、豊かで美しい自然環境に囲まれた山間都市として特徴的な風光を持つ上田市は、これまで数多くの監督による映画作品、テレビ作品のロケ地になってきた。

今年で設立10周年を迎える信州上田フィルムコミッションも協力している作品数は、映画だけで100作品近く、テレビ・写真集も加えれば相当数に上り、巨匠と呼ばれた映画監督の多くが、上田市で撮影している。今年9月末には国内約80のフィルムコミッションが上田市に集結し、ジャパン・フィルムコミッションの全国総会が開催されたが、日本を代表するロケ地の一つでの開催とあって、映画・ドラマ好きが多く集まる総会は盛況を極めたという。

11月には『第15回うえた城下町映画祭』が開催された。映画祭の15周年、信州上田フィルムコミッションの10周年、上田市の合併5周年が重なった今回の映画祭のメインゲスト・山田洋次監督は、監督生活50周年。祝福ムードいっぱい記念映画祭となった。

「映画やテレビのロケ地になると、ロケ地



映画「たそがれ清兵衛」(山田洋次監督)のロケ風景(矢出沢川)



市民の熱心な保存運動でロケ地としても人気の柳町

を訪ねる人が増えます。歴史的な素材の作品であれば、周辺のゆかりの地などを訪ねる観光客も増えます。いわゆるロケ地ツアーも非常に人気で、とてもありがたいことだと思うのですが、従来は比較的、中高年のお客さまが多かったのも事実でした。ところがここ最近、これまで比較的少なかった若い女性の観光客が非常に増えているのです(母袋市長)

平成18年度に約400万人だった上田市の観光客数は、平成22年度に約480万人に伸びている。しかし、主要観光スポットへの入込数を比較検討してみると、面白い事実気付く。平成18年度に約74万人だった上田城跡への観光客数が、平成22年度には倍以上の約156万人になっている。

実はその間、別所温泉や菅平高原、美ヶ原高原などの人気スポットを訪れる観光客数はそれほど増えていない。上田城跡への観光客

数の伸びだけが顕著なのだ。その根幹をなすのが母袋市長の言葉にもあった「若い女性観光客・歴女族の急増現象」である。

「平成17年に発売開始され、以後、爆発的に売れたアクションゲーム(いわゆるテレビゲーム)のソフトに『戦国BASARA』シリーズがあります。これには戦国時代の武将たちがゲームキャラクターとして大勢出てきますが、中でも真田幸村公のキャラクターが若い女性に大人気となり、上田城跡を訪ねる若い女性観光客が急増したのです(母袋市長)」

ゲームソフト『戦国BASARA』はやがてテレビアニメシリーズとなり、平成21年・22年に12話ずつ放映された。平成18年度から19年度にかけて約20万人増えた上田城跡への観光客数は、テレビアニメ版『戦国BASARA A』シリーズが始まった平成21年度に至って、前年度比80万人増を記録する。さらにそれ以後も着々と増え、今や上田城跡は市内第1位の人気スポットになった。

『戦国BASARA』で使われた真田幸村のキャラクターにちなんだお土産グッズも大人気だ。平成22年8月から12月までは、別所線の車両に真田幸村のキャラクターがラッピングされた『戦国BASARA真田幸村号』が運行され、やはり大人気を博した。

「若い女性観光客が増えれば、必然的にその他の観光客も増えます。そのため全国の観光地は、女性観光客誘致のための知恵を懸命

に振り絞っています。上田市もその例外ではありません。ゲームやアニメのキャラクターが要因となって、上田市最大の歴史的シンボルである上田城跡への若い女性観光客の訪問が急増するなど、まったく予測も付かないことでした(母袋市長)



外国人との「多文化共生」も上田市の顔の一つ(ブラジル田舎まつり)

観光客誘致を成功させる最大の要因は、言うまでもなくその土地が持つさまざまな意味の魅力である。上田市のこの事例は歴史的遺産である上田城跡に、若い女性の心をとらえるストーリーが、ゲームキャラクターというビジュアルを伴って展開したことで、女性ファンには「まったく新しい魅力」と認知されたことによる。

その上に前述した真田幸村の生涯の大河ドラマ化や、真田三代にゆかりの各地との連携による広域観光などの企画がうまく回転すれば、若い女性によって思いがけず認知された観光地としての上田市の「新しい魅力」は、さらに盤石のものになっていくに違いない。



市民の健康管理や子育て支援にフル稼働する「ひとまちげんき・健康プラザうえだ」

周産期医療の確立がもたらす 安全・安心な暮らし

上田市の行財政改革は平成14年度の大綱の策定で本格化した。その後、三位一体改革などの影響で紆余曲折はあったものの、人事制度をはじめとする市政運営にあらゆる角度からの見直しを行うとともに、市民協働の仕組みづくりや職員の意識改革、地域協議会の役割の増大化、民間活力の積極的な活用などの諸施策を実施することで、目標を着々と達成しつつある。

これまで述べてきたように、広域圏の中核的都市としての存在感の拡充や、主要産業である観光振興を軸にした地理的要件にこだわらない都市間連携への努力、上田市の魅力を効果的に発信するための各種PR作戦は全体に奏功しているといえる。さらにそれが上田市の新たな魅力づくりへと効果的につなが

りつつあるのは、その背景に合理的、かつ地域の活力を損なわないよう配慮された行財政改革の実施があったればこそだろう。

「今後はさらに市民が安全・安心に暮らしていける要件を整え、それを市民生活の新たな魅力としていかなければなりません。近年続いた豪雨被害や地震への備えなどの防災体制の拡充化とともに、その最重要施策と考えているのが、上田市産院の移転新築による周産期医療体制の確立事業です(母袋市長)」

上田市産院が存続の危機に見舞われたのは平成17年。産科の医師不足に加えて、新研修医制度の開始などによる、信州大学から派遣されていた医師の引き揚げが発端となった。

以後、いったんは廃院も止むなしと検討した母袋市長だったが、存続を願う市民グループの熱意に動かされ、産院の存続を決意。母袋市長が先頭に立って全国に医師を求め、情報と熱意で一人ずつ訪ね歩く地道な努力を重ねた結果、医師確保につながり、体制確立の目途が付いた。そして今、来年4月のオープンを目指し、新産院の建設工事が着々と進んでいる。

この話題について語る母袋市長の顔



幸村公のファンが集結する真田幸村ロマンウォーク(10月)

は実に晴れ晴れとしている。周産期医療体制の確立は、地域が発展していくための土台であるのだから、それも当然だろう。また上田市への赴任を最初に決意してくれた医師たちの「決意の決め手」が、実は上田市の持つ豊かな自然や歴史、暮らしやすさ(労働環境、子育て支援など)、将来性を含め、理想の地域医療実践の場としての総合的な「魅力」にあったという話も漏れ聞く。単なる都市の規模ではなくその「質的な魅力」が、医療体制構築に不可欠な医師の心を捉える要因になるという事実は、他の都市の関係者にとっても非常に勇気づけられる話ではないだろうか。

冒頭に述べた定住自立圏の形成も、その根底に地域で安心して子どもを産み、育ていくことができる安全・安心な環境がなければおぼつかない。地域の新旧の魅力を常に感じながら、市民が安全・安心に暮らすことのできるまち。さらに広域圏の連携などによって、外へ発展する芽も着実に紡ぎつつあるまち——。どこもかしこも「ロケ地だらけ」の感がある美しいまち上田市内をあちこち歩いている最中、そのような感想がしきりと湧いてきた。

(取材・文 遠藤隆)

城跡公園の発展

お堀に電車が通った

～二の丸橋の下にプラットホームが～

秋に見事な紅葉で私たちを楽しませてくれる上田城跡のケヤキ並木。ここは元々二の丸の堀だったところで、昭和2年に真田方面行きの電車の線路(上田温泉電軌(株)北東線)が敷設されました。二の丸橋が現在のコンクリート橋になったのもこの時です。

二の丸橋のすぐ下には、公会堂下駅(昭和23年に公園前駅と改称)があり、現在でもプラットホームが残っています。無人駅だったものの、花見の時期やイベントの際には乗降客が多かったようです。電車は昭和47年に廃止となり、昭和56年にケヤキ並木遊歩道が完成しました。



堀の中を走る電車

公園にクマやシカがいた 「動物園の人気者」六ちゃん」

城跡が公園となり、動物園が設けられた例は全国的にも多く見られ、身近なところでは小諸懐古園の動物園が挙げられます。小田原城跡でも、つい最近まで天守閣の下でゾウが飼育されていました。動物園は、城跡が憩いの場としての役割をもつ大きなきっかけとなったのです。

このような例に洩れず、上田城跡にも戦前に、動物園が造られました。二の丸の児童遊園地(現在の博物館周辺)の中に動物園が復活したのは昭和25年のこと。翌26年には東京からハッピーとメリーという2頭のシカが入園し、たちまち人気者になりました。また、昭和33年には、青木村で保護された子グマが入園。保護した猟師が6人組だったことから、「六ちゃん」と名づけられました。子どもたちの人気者だった六ちゃんのことを覚えている方も多いのではないのでしょうか。他にも小鳥やウサギなどの小動物が飼育されていました。

が、昭和37年に山本鼎記念館、同40年には市立博物館が建設され、動物たちは現在の場所に移されました。

上田城跡は史跡であるため、動物園はふさわしくないものとして扱われてしまいがちですが、市民に親しまれる施設として、大切な役割を果たしてきました。



昭和40年の市立博物館の起工式。
シカの柵と奥にはクマの檻が見える。

上田城の謎

天守閣は あったのか

天正11年(1583)に真田昌幸が築城を始めた上田城は、同13年9月頃には城の形がほぼ完成していたようです。しかし、関ヶ原の合戦の後、徳川幕府は上田城を跡形もなく破壊し、昌幸・幸村親子を高野山(和歌山県)に追放しました。昌幸の後、城を引き継いだ長男・信之は、城を修復せず、現在の上田高校や清明小学校の敷地に屋敷を建てて藩政を行いました。

次の城主・仙石忠政は破壊されたままになっていた上田城の修復にとりかかりました。現在でも西櫓や石垣の一部は、ほぼ忠政が修復した当時の姿で残っています。本丸に七つの櫓と二つの櫓門を造った忠政が病死し、二の丸の櫓や門などは造られないままとなり、天守閣も建てられなかったことが古文書などから判明しています。

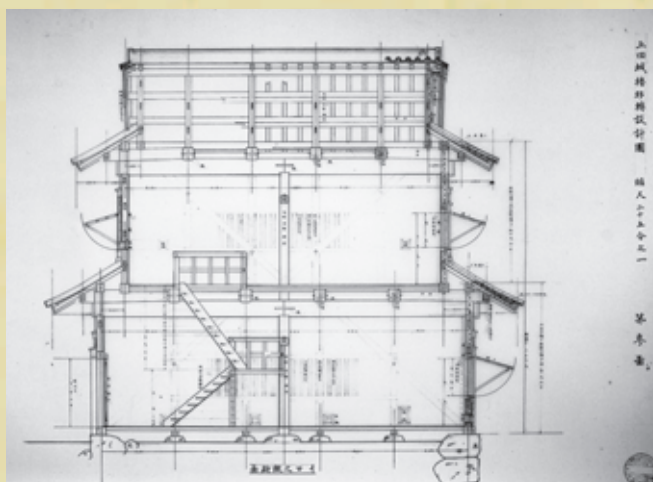
では、真田昌幸の上田城に天守閣はあったのでしょうか。残念ですが、確たる証拠が無く、現状では何とも言えません。ただ、昌幸の城が豪華絢爛だったことを示す証拠として、昭和2年に市営野球場の工事の際に、

戻ってきた2棟の櫓 市民の熱意に

東京への移築を断念！

上田城跡にある三つの櫓のうち、櫓門の両側にある北櫓・南櫓は、払下げにより明治11年に上田遊廓に移築され、貸座敷として使われました。

この貸座敷は昭和5年頃には廃業し、櫓はそのままになっていましたが、昭和16年に2棟の櫓が東京の料亭に売られてしまいました。このことが新聞で報道されると、市民から「櫓が東京に移されるのは寂しい。何としても買い戻して城跡に復元を」という声が上がりました。「上田城址保存会」が結成され、買い戻すための寄付金が集められました。翌年には櫓を買い取り、文部省の指導を得ながら設計な



南櫓・北櫓復元時の設計図

どの準備を進め、昭和19年3月に上棟式を行いました。ところが、太平洋戦争の戦局悪化により工事が中断、終戦後の昭和23年に工事は再開され、翌24年に復元工事が完成しました。こうして約70年以上の年月を経て2棟の櫓は城内に戻りました。櫓は、丸太だった大黒柱が遊廓移築のときに、四角い柱に加工されたりしていましたが、復元の際に元々の材料を出るだけ利用し、忠実に復元しようと苦労した様子がうかがえます。南櫓・北櫓は、徴古館（博物館）となっていた西櫓とともに、昭和28年から「上田市立博物館」として、昭和40年に現在の博物館が開館するまで使用されました。

櫓門とともに上田城跡のシンボルとなっていた二つの櫓。その数奇な歴史は、全国でも二つとない逸話となっています。



昭和24年の復元竣工式の写真



上田城の古い写真や絵図を探しています

上田城に関する写真や絵図について、皆さんからの情報の提供をお願いしたところ、幾つかの情報が寄せられました。市では引き続き上田城の櫓復元という夢に向けて、調査研究に必要な情報をお待ちしています。

特に提供いただきたい情報

- ・ 櫓が写っている古い写真（明治初期）
- ・ 櫓の高さが書き込まれた絵図
- ・ 櫓の立面図
- ・ 上田城跡内で撮影した写真（明治末期まで）
- ・ 櫓など建物の移転先についての情報

問 市文化振興課 TEL23・6361



発見された金箔瓦の破片

昌幸の時代の瓦と思われる、金箔を表面に貼った瓦3点が城跡から発見されています。その後、発掘調査などで金箔瓦が数点発見されており、豪華な鯰瓦などを屋根に載せた建物があったのは間違いのないようです。

金箔瓦は安土桃山時代に特有の瓦で、安土城や大坂城など、織田信長や豊臣秀吉の城に見られ、地方の城ではあまり例がありません。これほどの豪華な瓦が屋根に載っていた建物は、上田城を代表するものだったはず。真田昌幸が上田城を造ったのと同じ頃に建てられた、松本城や諏訪高島城などには立派な天守閣があり、上田城にだけ無かったと考えるのは無理がありそうです。しかし、これらを天守閣があった証拠だと断定するには絵図面や古文書などの史料が少なく、慎重にならざるを得ません。昌幸の頃の上田城の解明については、今後も調査研究が必要です。

※戦国時代の「大阪城」は「坂」の字を使います。

絆をテーマに開催 2012シリーズ文化講演会

地域文化の振興に知恵と力添えをいただける個性豊かな3人の講師を迎え、絆をテーマに市内文化団体が力を合わせて開催します。申込不要、入場無料です。



増岡弘さん

第1回 “自然派”陽だまり人生のススめ

- 日時** 2月18日(土)午後1時30分～3時15分(1時開場)
- 場所** 真田中央公民館ホール
- 講師** 増岡弘氏(俳優・声優)
- 略歴** 1936年、埼玉県生まれ。文化学院美術科卒業。舞台美術関係の仕事から役者に転向後、劇団表現座設立、俳優協会に所属。アニメ「サザエさん」のマスオさん、「それいけアンパンマン」のジャムおじさん役で広く知られている。

定員 400名
問 真田地域教育事務所 TEL72・2655



宮川泰夫さん

第2回 ～「のど自慢」12年の旅から～ であい ふれあい ひびきあい

- 日時** 2月25日(土)午後1時30分～3時15分(1時開場)
- 場所** 丸子文化会館セレスホール
- 講師** 宮川泰夫氏(元NHKアナウンサー)
- 略歴** 1945年、新潟県生まれ。1968年、東京大学文学部社会学科卒業。同年、NHK入局。のど自慢の司会者として12年間で、全国600か所・海外9か所を訪ねる。他に紅白歌合戦総司会、NHKスペシャルなども担当した。

定員 800名
問 丸子地域教育事務所 TEL42・3147



米長邦雄さん

第3回 美しい日本人を育てよう

- 日時** 3月7日(水)午後6時30分～8時15分(6時開場)
- 場所** 上田文化会館ホール
- 講師** 米長邦雄氏(永世棋聖・日本将棋連盟会長)
- 略歴** 1943年、山梨県生まれ。1963年プロ棋士となる。1985年に永世棋聖、1993年には第51期名人となる。独自の勝負観・人生観で、講演や執筆活動を行う。8年間の東京都教育委員の経験を生かして、教育問題にも積極的に取り組んでいる。

定員 500名
問 市文化振興課 TEL23・6361

子どもたちの輝く姿 第11回うえだ子ども文化祭

上田市文化少年団に加盟する11団体から、約600名が参加・出品します。子どもたちが舞台上で、また展示の場で輝く姿をぜひご覧ください。

- 日時** 2月18日(土)午後1時～4時(展示のみ)
19日(日)午後1時～4時予定(0時30分開場)
- 場所** 丸子文化会館セレスホール(舞台)、ホワイエ(展示)
- 入場料** 無料
- 問** 上田市文化少年団事務局(市文化振興課内) TEL23・6361



非常勤職員を募集します 緊急雇用対策

地域の雇用状況が厳しい中、雇用機会の創出と拡大を図るため、非常勤職員を募集します。

- 採用日** 4月1日(日)以降 **雇用期間** 1年以内
- 業務内容** 外国籍市民の相談(ポルトガル語などの通訳)、正規職員の事務補助、屋外での作業、博物館の蔵書や資料の整理業務、保育園等の保育業務・給食の調理など
- 賃金** 時給840円～(交通費別途支給) **採用人数** 30名程度
- 応募資格** 次の条件をすべて満たす方。
平成23年3月11日の震災以降に離職した方(離職理由は不問)。昭和27年4月2日以降に生まれた方。地方公務員法の欠格事項に該当しない方。上田市または他の自治体などが実施した緊急雇用創出事業で雇用された経験が通算して1年未満の方。外国人登録者は、日本語による会話が可能なる方。
- 面接試験** 2月16日(休)午前9時～午後3時に、市役所本庁舎6階大会議室で開催。事前の連絡は不要です。その場で面接を行い、後日採用の可否を通知します。
- 持ち物** 市販の履歴書(顔写真を貼付)、外国人登録証(外国人登録者のみ)
- 問** 市 人材開発課 TEL23・5332



出展者を募集！ 春の信州上田うまいもん大集合

今年の上田城千本桜まつりで、開催予定の「春の信州上田うまいもん大集合」に出展する市内の飲食店業者を募集します。

- 日時** 4月14日(土)・15日(日)午前10時～午後3時(予定)
- 場所** 上田城跡公園芝生広場(公園管理事務所前)
- 出展資格** 「上田」や「桜」にちなんだオリジナル料理を出展し、千本桜まつりを盛り上げようという志を持つ市内飲食店業者。
- 出展形態** テント販売(幕付)、間口2.7m×奥行3.6m
- 出展料** 1万1,400円(公園使用料込みで基本設備のみ)。ただし、出展する料理により追加で必要となった場合の設備費用や保健所への申請経費などは、別途出展者の負担。
- 応募方法** 電話で募集要項などを請求のうえ、所定の申込書に必要事項を記入し、信州上田まつり実行委員会事務局へ。
- 応募締切** 2月13日(月)必着
- 問** 信州上田まつり実行委員会事務局(上田観光コンベンション協会) TEL23・5408

上田地域に伝わるひな人形 企画展「上田のひな祭りーお姫様の婚礼道具ー」

城下町・宿場町の顔を持ち、蚕糸業で栄えた上田地域には様々なひな人形が今に伝えられています。今年度新たに確認されたひな人形、ひな道具を中心に展示会を開催します。上田を治めた真田・仙石・松平家のお姫様の婚礼道具もあわせて紹介します。

- 日時** 2月18日(土)～4月3日(火)午前8時30分～午後5時
(入館は4時30分まで。水曜日は休館)
- 場所** 上田市立博物館
- 入館料** 一般250円、高大学生180円
小中学生60円(市内の高校生以下無料)
- 問** 上田市立博物館 TEL22・1274



きょうほうびな
江戸後期の享保雛

お知らせ

Information A La Carte

平成23年分所得税の確定申告

確定申告をすれば市・県民税の申告は必要ありません。ただし、確定申告の必要はなくても、市・県民税の申告は必要になる場合があります。期間内に忘れずに申告してください。

●申告相談・申告書受付期間 2月16日(木)～3月15日(木)(土・日曜日を除く)

●公的年金等を受給している方 平成23年分の確定申告から公的年金等の収入合計額が400万円以下で、かつ、公的年金等にかかる雑所得以外の所得金額が20万円以下である場合には、所得税の確定申告は不要です(しかし、医療費控除や社会保険料控除、扶養控除や配偶者控除などを含めた市・県民税の申告は必要です。忘れずに申告してください)。

●申告しなければならぬ方 ①営業・農業・不動産所得などの所得合計額が各種控除合計額を超える方、②給与の年収が2000万円を超える方、③給与所得者で給与と退職所得以外の所得が合計で20万円を超える方、④2か所以上から給与があり、給与と退職所得以外の所得と年末調整されなかった給与の収入金額が合計で20万円

を超える方など。※還付申告をする場合には、給与や退職所得以外の所得の合計額が20万円以下であっても、それら全部を含めて計算しなければなりません。

●申告をすると給与や年金などから源泉徴収された所得税が還付される可能性がある方 ①マイホームを住宅ローンなどで取得した方、②多額の医療費を支払った方、③災害、盗難、横領にあった方、④年の途中で退職し再就職していない方など

●申告時の必要書類 源泉徴収票(原本)、領収書や証明書など、本人名義の預金口座のわかるもの、印鑑

問 上田税務署 TEL 22・1234

市・県民税の申告で医療費控除などをお忘れなく

すでに所得税の申告を済ませ、税額が0円であった方でも、控除額が違うために住民税では課税になる場合があります。この場合でも、医療費控除や扶養控除、寡婦(夫)控除などの申告で、非課税になる場合もあります。例年、申告漏れが多いので、忘れずに申告してください。

詳しくは、各世帯に配付した「平成24年度市・県民税申告の手引」をご覧ください。

●申告受付期間 2月16日(木)～3月15日(木)(土・日曜日を除く)

お知らせ

●場所 上田市民会館、丸子・真田・武石地域自治センターほか出張会場

問 市税務課 TEL 23・5115

2月は子ども手当の支給月です

子ども手当を受給中の方へ平成23年10月分から24年1月分までの子ども手当を2月10日に指定口座に振り込みます。通帳の記帳によりご確認ください。

また、10月から、子ども手当が特別措置法へと移行となり、支給金額等が変更となりました。

●対象／支給金額 0～3歳未満／1万5000円(二律)、3歳～小学校修了前／1万円(第3子以降は1万5000円)、中学生／1万円(二律)

※子ども手当の「第3子」とは、18歳に達する日以後の最初の3月31日



今月の表紙

西内保育園 里山そり遊び

1月11日、雪の舞う中、西内保育園のそり遊びが行われました。

保育園の裏山の傾斜地は、滑走距離40mほどのそり遊びに格好のゲレンデ。事前に保護者や地域の皆さんが、草刈りなどの整備をしてくれた場所です。

当日の積雪は約15cm。園児2・3人ずつを乗せた二人用のそりは、雪煙をあげながら傾斜地を勢いよく滑り降り、その度に「ワーッ」という大きな歓声が沸き起こります。順番を待つ園児たちの、期待でいっぱいキラキラしたまなざしも印象的。園児たちは存分に冬を楽しんでいました。

までの子どものうち上から3番目の子どもとなります。

●認定請求書(特別措置法外)の提出 11月4日に子ども手当の特別措置法へ移行に伴う認定請求書を対象者に送付しました。未提出の方は、早めに子育て・子育て支援課などへ持参、または返信用封筒で提出してください。

最終締切の3月31日(土)を過ぎると、平成23年10月分からさかのぼって支給することはできません。ご不明な点は、問い合わせください。

問 子育て・子育て支援課

丸健康福祉課 TEL 23・5106
貞健康福祉課 TEL 42・1039
武健康福祉課 TEL 72・2203
TEL 85・2067

無料申告相談と青色コーナー

◇無料申告相談会(税理士)

ようこそ市長室へ

平成23年12月に訪問した方の中から紹介します。



12月15日、ロンドンで10月に開催された第41回技能五輪国際大会の洋菓子製造職種で金メダルを獲得した上野実里菜さんが、市長表彰を受賞しました。技能五輪は原則22歳以下の技能者による国際的な競技大会。18か国の代表が競った同部門で、見事金メダルを獲得しました。上野さんは「練習は大変でしたが、夢を叶えたかったので、乗り越えられました」と話していました。



12月20日、山口県で10月に開催された国民体育大会で優秀な成績を収めた4選手が、市長表彰を受賞しました。

受賞者は、増田真七海さん(馬術競技 少年 二段階障害飛越 優勝)、野崎新市さん(ボウリング競技 成年男子 個人・優勝、団体・第2位)、竹下将弘さん(ボウリング競技 成年男子 団体・第2位)、富岡直希さん(レスリング競技 成年フリースタイル55kg級 第2位)です。富岡さんは、大会中のため母・洋子さんが代理出席しました。

※写真左から富岡さん、野崎さん、市長、増田さん、竹下さん。

コミュニティ助成事業で整備しました

(財)長野県市町村振興協会所管の市町村宝くじ助成金を受け、次の団体が事業を行いました。

- 期間 2月16日(木)～3月13日(火)
(土・日曜日を除く)
- 対象 小規模事業所得者(消費税申告含む)、給与所得者および年金受給者など。いずれも、譲渡所得のある方を除く。
- ◇ 青色コーナー(青色申告会)
- 期間 3月6日(火)～9日(金)
- ◇ 共通事項
- 時間 午前9時～正午と午後1時～4時(受付は午後3時まで)
- 場所 上田市民会館
- 問 上田税務署 TEL22・1234

◇砥石米山城登山道を整備

伊勢山自治

会により砥石米山城登山道の危険箇所(か)の整備が行われました。この整備により、安全で快適な登山ができるようになりました。



ぜひ砥石米山城に登り、真田氏ゆかりの地を身近に感じてください。

問 市 観光課 TEL23・5408

◇二つの自治会が祭具を整備

仁古田自治会では、仁古田大神楽(かぐら)の用具を、下常田自治会では灯籠提灯(とうろうていとう)吊り下げの整備を行いました。

両自治会では、地域の伝統文化の保存・伝承やコミュニティの活性化

に生かしていきます。

問 市 文化振興課

TEL23・6361

◇防災設備の整備

上長瀬自治会では防災設備として発電機、投光器、コードリール、チェーンソーをそれぞれ2セット購入しました。

災害時等の救護用・避難用器材として活用が期待さ



れます。

問 丸 地域振興課

TEL42・1011

◇屋外放送設備工事

半過自治会では屋外放送設備工事を実施し、自治会内3か所に9基のスピーカーを設置しました。

今後、地域コミュニティの情報伝達手段として、また地域のまとまりや絆を深めるための設備として活用されます。

問 市 市民参加・協働推進課

TEL22・4100(内線1352)



お知らせ

「あなたのまちの相談役」 民生児童委員にご相談を

「民生委員」とは、厚生労働大臣から委嘱され、地域において、常に住民の立場に立って相談に応じ、必要な援助を行い、専門機関と連携して社会福祉の向上に努める方々です。上田市では、「民生委員」と地域の子どもたちを見守り、子育ての不安などの相談・支援などを行う「児童委員」を兼ねる「民生児童委員」306人と、児童福祉について専門的に担当する「主任児童委員」26人が委嘱され、市民のために活動しています。

●こんな時にはご相談ください

市の福祉事務所や社会福祉協議会などの窓口や福祉サービスを紹介するなど、問題解決の窓口になります。

- ・一人暮らしや高齢者の世帯で困ったことがある
- ・福祉サービスの内容や利用方法が分からない
- ・介護サービスの利用について
- ・妊娠中の心配ごとや子育ての不安がある
- ・不登校やいじめについて相談したいことがある
- ・児童虐待について
- ・経済的に困っていて生活保護を申請したい
- ・どこに相談すればいいのかわからない など

●秘密は厳守されます

民生児童委員には守秘義務があります。また、個人情報に関するガイドラインに基づき、個人情報やプライバシーに配慮して、市民の皆さんとの信頼関係の構築に心掛けています。

お近くの民生児童委員をご案内しますので、連絡ください。

問 市福祉課	TEL22・4100(内線1605)
健康福祉課	TEL42・1118
健康福祉課	TEL72・2203
健康福祉課	TEL85・2067

休日農地相談会

農地の転用、売買・相続・贈与・地目変更などで困っていることや疑問に思っていることを、地元農業委員と事務局職員が相談に応じます。

●期日／地区(場所) 2月25日(土)／上田・塩尻・神川(中央公民館)、

同月26日(日)／神科(上野が丘公民館)、真田全地区(真田地域自治センター)、武石全地区(武石地域自治センター)、3月4日(日)／殿城・豊里(豊殿地域自治センター)、城下・川辺・泉田(城南公民館)、浦里・室賀・小泉(丁上田西支所)、塩田(塩田公民館)、丸子全地区(丸

上田地域就職面接会 開催します

平成24年3月卒業予定の学生などを対象に、上田地域の企業との就職面接会を開催します。

- 日時 2月17日(金)午後1時～4時
- 場所 上田東急イン3階国際21クリスタルホール
- 対象 平成24年3月に大学・短大・

- 時間 午前9時～正午(浦里・室賀・小泉は午後1時30分～4時30分)
- 問 農業委員会事務局
TEL23・5466

ナポリの愛 400年を歌う

彌勒忠史(カウンターテナー)、高本一郎(リュート&アーリー・ギター)、田島隆(タンバリン)の3人

- 参加費 無料
- 持ち物 履歴書(必要部数)
- 申し込み 不要(高校生は、学校を通じて事前の参加申込が必要)
- 問 ハローワーク上田
TEL23・8609

<広告欄>

補聴器無料お試し体験会開催

「補聴器は雑音が入るさくて」という声にお答えして、お耳の形と聴力に合わせた補聴器でお試しいただけます。



補聴器のタイプも多種多様です。現在ご使用の補聴器にご不満を抱えている方、初めてのご使用を考えている方に、充分に納得していただけるまでご相談に応じます。その上でお客様の耳の形や生活に適した補聴器を、何度でもお試し頂き、最適な補聴器をお届けします。

■雑音抑制機能付き完全全自動補聴器
販売価格 140,000円～(非課税)
☆代金の分割払いも承りますのでご相談ください。
補聴器用電池1パックいつでも 630円

◎補聴器
ご購入の
ポイント

1. 正確に聴力を測定すること ※聴力測定で、ご自分の聴力の種類と程度がわかります。
2. お耳の形と現在の聴力にぴったり合わせる ※正確に調整できる設備と技術
3. ご購入後も安心してご使用いただける生涯アフターメンテナンス
※補聴器は身体に付けてご使用いただくもので、定期的に点検、お掃除がずっと必要になる機械です。

★全国100店舗ネットの補聴器専門店。真心と誠実がモットーのゆっくり、じっくり相談できるお店です。お気軽にご相談下さい。聴力測定室も完備。

世界の補聴器のリードメーカー、オーディコン、シーメンス補聴器etc

北陸補聴器株式会社 身体障害者福祉法補聴器委託契約店

信濃補聴器センター

上田市中央3丁目5-22 上田市ふれあい福祉センターとなり

☎(0268)23-0428

■営業時間 午前9時～午後5時 ■定休日 毎週日曜・祝日・第4土曜日
■ご相談により、時間外相談も承ります。お気軽にどうぞ。



「うんと遊んで、考えて」 楽しいこといっぱいの園生活

梅花幼稚園

梅花幼稚園は、市役所や上田城跡公園などのある市の中心地区に、今から111年前に開設された歴史ある幼稚園です。子どもたちが毎日を過ごす園舎も開園当時のままです。

朝、登園した子どもたちは出席のシールを貼ると、後はひたすら積木遊びをしています。体全部を使って、自分の体と同じくらいの大きさの大型積木を運び、積み重ね、3階建ての家を作ったり、屋根までついた真っ暗な迷路のようなお化け屋敷を作ったりと、それぞれが考えて、みんなで力を合わせて想いを形にしていきます。大型積木を自由自在に使えるのは年長になってからなので、年少児・年中児は、頼もしい年長児を見ながら小さな積木で積み方をまねて、同じような家や飛行機を作り楽しんで



「クリスマスページエントの馬小屋づくり」
「イエスさまは馬小屋で生まれたんだよね」

います。そして、作った積木の家の中で、絵を描いたり、ままごと遊びをしたり、そこで昼食を食べることも子どもたちの楽しみの一つです。

園では1年を通して、季節を感じる行事が盛りだくさん。「田植え」「花の日礼拝」「収穫感謝祭」「クリスマス礼拝」「雪あそび」「たこあげ」を楽しんでいます。今年度のクリスマス礼拝では、讃美歌を歌い、ろうそくに^{ろうそく}されたあかりを見つめながら、保護者の方々と礼拝しました。特に、震災に遭われた人たち、働かなくては生きられない子どもたちなど、世界のどこかで悲しんでいる人たちのことに思いを馳せ、子どもたちは祈りました。そのほかに「料理の日」「体育の日」や年2回、園と別所温泉で行う「お泊まり」など子どもたちにとって、待ち遠しいことがいっぱいの園生活です。うんと遊んで考えて、子どもたちは毎日元気に生活しています。

「ばく飛行機みたいな形のおうちをつくりたい」
「1階は横から入ろう!」
「2階は階段で上ろう!」
「3階もつくろう!」



とともに、イタリア400年の歴史と音楽を楽しみます。「タンバリン博士・田島隆」のミニ講座もあります。

●日時 3月20日(火・祝)午後2時開演

●場所 信州国際音楽村ホールこだま

●入場料 前売り2000円、当日2500円

うへだ 人権フェスティバル

●期日 2月18日(土)・19日(日)

●内容/時間 人権作品・資料の展示/両日午前10時~午後4時30分

問 (財)信州国際音楽村
TEL 42・3436

(19日は午後3時まで)、人権作品表彰式/18日午後1時~、講演会「震災と人権」^{あつみともひで}渥美公秀氏(大阪大学大学院教授)/18日午後2時、

●場所 中央公民館大会議室・展示室

●入場料 無料

●生涯学習課 TEL 23・6370

<広告欄>

SBCラジオにてCM放送中!

債務整理

「借り過ぎ」より「払い過ぎ」を見直しませんか

相談無料です
お気軽に
お電話ください

消費者金融・カードローン・クレジット・多重債務

借り過ぎでお困りではありませんか

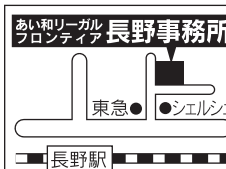
払い過ぎ分を取り戻す 利息を引き下げる 業者の催促を停止する 支払いを一つにまとめる

無駄なく無理なく完済するまで私たちがサポートします

司法書士法人 あい和リーガルフロンティア

あい 和 に さあ はやく かげしま ひろし
0120-182-388 認定司法書士 影嶋 広志
www.aiwa-law.com 長野県司法書士会会員登録番号690号

長野事務所/長野市南千歳1-3-3 アレックスビル3F TEL.026-269-8777
東京本社/東京都渋谷区千駄ヶ谷5-21-6 プラザF1ビル202 TEL.03-5919-2444



受付/9:00~19:00(月~土曜)

お知らせ

「医療シンポジウム」の模様を行政チャンネルで放送

1月21日(土)に「新生『上田市』5周年記念・被災地復興支援－ふるさと うえだ 絆深めて－」の一環として開催した「医療シンポジウム」の模様を、行政チャンネルで放送します。このシンポジウムは、四人のパネリストが「上田地域における医療再生の現状と展望」をテーマに、地域医療再生に向けた上田市と信州上田医療センターの取り組みについて、分かりやすく話しています。ぜひご覧ください。

●放映 2月3日(金)から

・放送時間帯 5:00～、7:00～、10:00～、
13:00～、15:00～、18:00～、
20:00～、23:00～

●放送チャンネル

・上田ケーブルビジョン(UCV)

デジタル CATV009 チャンネル

・丸子テレビ放送(MTV)

デジタル CA103 チャンネル

上田市ホームページでもご覧いただけます。

問 秘書課 TEL23・5149



催し／講座・教室

「海野町・原町ビックリ歴史散歩」こぼれ話し

ブックレット「海野町・原町ビックリ歴史散歩」を発行した上田小県近現代研究会の先生方に、取材を通じて新たな発見や感じたことをお話しいただきます。

●日時 2月27日(月)午後6時～7時30分(5時30分受付開始。早めの来館で館内見学可)

●場所 池波正太郎真田太平記館

●定員 先着40名

●参加費 500円(コーヒー、菓子付き)

●申し込み 2月23日(木)までに電話、またはFAX(25・2110)でうえだ原町一番街商店会へ。

問

うえだ原町一番街商店会(河合)
TEL 090・8743・2021

上田市少年少女サッカー大会

青少年活動の一環としてサッカーを通じて、健全な心身の発達と相互の親睦を図ることを目的とした大会です。

●期日 3月17日(土)・18日(日)。予備日は20日(火・祝)

●場所 上堀グラウンド

●競技方法 8人制ミニサッカー

●ブロック 高学年の部(男女4～6年生)、低学年の部(男女1～3年生)、女子の部(女子1～6年生)チームは原則、育成会単位で編成

講座・教室

Information A La Carte

ブログ作成セミナー 上田の魅力を紹介

市内で取材・撮影した場所についてブログを作成し、公開します。

市立博物館と、展示品の日本が一番古い反射式望遠鏡・国友藤兵衛(いづつかんべい)作天体望遠鏡を取材し、レポートの書き方、展示品の撮影について学びます。

●日時／内容 3月2日(金)午後1時30分～4時30分／ブログについて

知ろう「ブログ作成体験」、同月9日(金)午前10時～午後3時／レポートの書き方講座と市立博物館の取材・撮影、同月16日(金)午後1時30分～4時30分／写真の補正とレポートブログ作り。

●場所 マルチメディア情報センター

●対象 パソコン経験者で、インターネットで上田の魅力を外部に

する。

●参加費 1チーム3000円(2月29日(水)の監督会議で徴収)

●申し込み 2月22日(木)までに、所定の申込用紙で。持参の場合は、

体育課、丸子総合体育館、真田・武石各教育事務所へ。郵送の場合は、必着で体育課宛(〒386-10025 天神2-4-74)へ。

問

体育課 TEL 23・6372

<広告欄>

ぬくもりと笑顔あふれる、本物の住まい



当社は全棟

★長野県産材(木曾ひのき・遠山杉・信州唐松・信州赤松)

★長期優良住宅

★ふるさと信州・環の住まいで造ります!

イベント予定

■2月12日 住まい教室 薪ストーブ勉強会

■2月18・19日 お客様の家完成・構造見学会

■陽なたの家 毎週土日はOMソーラー温かさ体験会

※詳しくはHPをご覧ください!

陽なたの家 開館日:土曜・日曜・祝日 AM10:00～PM4:00
モデルハウス 平日・上記時間外でもご連絡いただけましたら
ご案内致します。

太陽光発電 + OMソーラー
光と熱を上手に使う
ハイブリッド住宅です!

陽なたの家



美し信州建設株式会社
TEL 0268-27-6667

市 上田市役所
真田地域自治センター

tel.22・4100(代) fax.25・4100(代)
tel.72・2200(代) fax.72・4140(代)

丸 丸子地域自治センター
武 武石地域自治センター

tel.42・3100(代) fax.43・3666(代)
tel.85・2311(代) fax.85・2313(代)

足腰を鍛えて、要介護になるのを防ぐための方法などを理学療法士が分かりやすく説明します。

信州上田医療センター 第66回市民公開講座

健康推進課 TEL 23・8244

● 対象 上田市民
● 参加費 無料
● 申し込み 2月24日(金)までに電話で健康推進課へ。

● 内容 講演「こころの声に寄り添って」アサーションスキルを学ぶ「塚越洋子氏(子どもサポーター)うえだ心理相談員」、交流会

● 日時 2月27日(月)午後2時～4時
● 場所 ひとまちげんき・健康プラザうえだ

第6回 ひきこもり家族教室

マルチメディア情報センター
TEL 39・1000

● 定員 先着20名
● 受講料 3500円(ブログ作成セミナーの参加経験者は2回目からの参加可、2500円)
● 持ち物 デジタルカメラ
● 申し込み 3月1日(木)までに電話でマルチメディア情報センターへ。

男雛、女雛に見立てた一対のフラワーアレンジを作ります。

ひなまつり フラワーアレンジ講習会

TEL 27・9400

● 参加費 テーピング講習会のみ1000円(テープ代として)

● 講師 (社)長野県柔道整復師会東信支部スポーツボランティア委員会
● 場所 自然運動公園総合体育館小競技場

● 日時 2月19日(日)午前9時～正午(テーピング講習会、午後1時～4時(ストレッチング講習会))

スポーツテーピング& ストレッチング講習会

信州上田医療センター
TEL 22・1890

● 日時 2月18日(土)午後1時30分～2時30分
● 場所 信州上田医療センター研修センター3階講堂
● 講演 ロコモティブシンドロームを知っていますか?
● 参加費 無料(参加者は駐車場無料、予約不要)

● 申し込み 2月9日(木)午前9時以降、電話で神川地区公民館へ(受付時間/午前9時～午後4時)。

神川地区公民館

● 持ち物 エプロン、バンダナ
● 申し込み 2月9日(木)午前9時以降、電話で神川地区公民館へ(受付時間/午前9時～午後4時)。

● 参加費 受講料1000円、材料費700円

● 定員 15名

● 対象 女の子を育てているお母さんを優先
● 講師 菊地貴美子氏(製菓衛生師)

● 日時 2月23日(木)午前10時～午後2時
● 場所 神川地区公民館

ひな祭り料理教室 (託児付)

上田情報ライブラリー
TEL 29・0210

● 場所 上田情報ライブラリーセミナールーム
● 講師 関口鷺佳氏(勅使河原和風会・青い鳥主宰)
● 定員 先着20組(一人での参加も可)
● 参加費 2000円(材料費を含む)
● 持ち物 花ばさみ、エプロン
● 申し込み 2月23日(木)までに電話で上田情報ライブラリーへ。

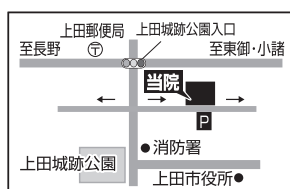
<広告欄>

医療法人三折堂 宮下 医院 神経内科・内科・胃腸内科

〒386-0023 長野県上田市中央西1-15-12
TEL 0268(22)4328 FAX (26)8231

- 理事長/宮下美生 消化器病専門医(日本消化器学会認定)
- 院長/宮下暢夫 神経内科専門医(日本神経学会認定)

診療時間 午前 9:00～12:00
午後 3:00～ 6:00
休 診 日 土曜午後・日曜・祝日



神経内科 ※予約制

頭痛・めまい・しびれ・ふるえ・歩行障害・認知症などを来たす脳神経系の病気を診断し、内科的に治療する科です。

主要設備

オープン型MRI、超音波検査装置(腹部一般、頸動脈エコー)、胃・大腸内視鏡、レントゲン、筋電図検査装置等

太郎山の自然観察を続け 自然との共存を考えています

みつゐきこ
三井幸子さん
ほりうちまさき
堀内将樹さん

平成14年から太郎山裏参道の植物調査を実施し、平成15年6月に発会した「上田自然に親しむ会」。中央公民館で開かれた里山講座を契機に17人でスタートし、上田市近辺の自然観察から学び、楽しみ、自然との共存を考えていくことを目的に、現在は31人で身近な自然観察と太郎山の植物調査を楽しんでいます。

昨年4月、太郎山へ登る楽しさを知り、自然を大切にすることを第一歩にしようと、同会会員の堀内将樹さん（左の写真左）を実行委員長に、「太郎山の木の名前を知り自然を学ぶ事業」を立ち上げ、裏参道の木々の名前や特徴を説明する「樹名板」の製作をしました。板に記載する説明文の内容などを話し合う一方で、4月から7月まで4回に渡り山を歩

き、木の選定や、仮の名札付け作業を行いました。

8月6日には、子どもたちにも自然観察を楽しんでもらおうと、親子観察会を開催。市内の親子10人と会員が参加し、太郎山の草花や木、昆虫の名前を学びました。「子どもは植物よりも昆虫に興味があり、名前を覚えてもらい喜んでいました」と堀内さん。「小学校の遠足で、木の名前を見ながらゆつくり登山を楽しんでほしい」と話します。



上田自然に親しむ会では、今年度、わがまち魅力アップ応援事業の団体を対象とした、特色あるまちづくり事業の採択を受け、「太郎山の木の名前を知り自然を学ぶ事業」を行っています。木の名前を覚えながら登山を楽しんでほしいと製作した樹名板は、大きさ縦10cm、横15cmほどで、成長に合わせて伸びるナイロン製ベルトを使うなどの工夫をしました。2月11日（土・祝）・12日（日）の第28回文化創造祭（中央公民館）では、会の活動報告を展示発表。来年度はこれまで調査した研究資料をまとめたパンフレットを制作します。



わがまち魅力アップ応援事業を紹介するコーナーです。

<広告欄>



あおやぎ眼科

眼科各種手術 ●入院設備あります ●駐車場30台
(白内障・緑内障・網膜剥離術・硝子体切除術・眼瞼内反症・眼瞼下垂症 等)

〒386-0002 上田市住吉577
(マツヤ上田インター店前)

TEL.0268 (28) 6688

診療時間	月	火	水	木	金	土
午前9:00~12:00	×	○	○	○	○	○
午後2:30~5:00	○	手術	○	手術	手術	×

休診日

日曜・祝日・月曜午前・土曜午後
火曜午後(手術)・木曜午後(手術)
金曜午後(手術)

有料広告掲載のお問い合わせは、上田市秘書課(TEL23・5149)または(有)ダンディ信濃・トミー企画(TEL23・1706)へ。

穏やかな天気となった1月1日、新春恒例の元旦マラソンが丸子総合体育館と丸子北小学校の2会場をスタート・ゴールに開催されました。

丸子地域体育指導委員会と丸子地域のスポーツ団体役員の運営協力により行われるこのマラソンは、地域の名物行事であり、年始めのスポーツイベントとして地域住民に愛されています。

今年の参加人数は283人。午前10時30分、互いに新年の挨拶を交わした参加者は、念入りな準備体操をし、1.5kmと3kmのいずれかのコースを選んで、家族や友だちと笑顔でスタートしていきました。

参加者には、小さな子どもとゆっくり走る家族連れが多く見られる中、長野県縦断駅伝で活躍した上田東御小県チームの選手やビル・レッチェ監督の姿も見られました。

走り終えた参加者は「毎年この元旦マラソンを楽しみにしています。これで今年も1年間、健康に過ごせそうです」と充実感いっぱいの笑顔で話していました。

第38回元旦マラソン 今年も健康に走り切る



四ツ葉スケッチ

このコーナーでは、4地域の話題や出来事などを紹介しています。

真田の路線バス利用促進を図る

イルミネーションバスを運行



上田バス(株)では、このイベントに合わせて傍陽線、真田線を走る車両のうち2台を車内を電飾などで飾りつけ、イルミネーションバスとして3月19日までの予定で運行しています。キラキラと光る車内に乗り合わせた利用者は、「にぎやかで楽しげで良いですね」と話していました。

いた上田恭大さん(下原)は「高校への通学に毎日バスを利用していますが、こういうイベントがあると楽しく乗れる」と話していました。

真田地域の路線バス利用促進を目的に、昨年10月に設立された真田地域公共交通利用促進協議会による初めてのイベントとして、地域内を運行する上田バス(株)の菅平高原線、傍陽線、真田線を、12月19日から同月24日の午後4時以降に利用した方に花の球根がプレゼントされました。プレゼントには当たりくじが混ざられていて、引き当てた方にはシクラメンの鉢植えが贈られました。見事に当たりを引いた上田恭大さん(下原)は「高校への通学に毎日バスを利用していますが、こういうイベントがあると楽しく乗れる」と話していました。





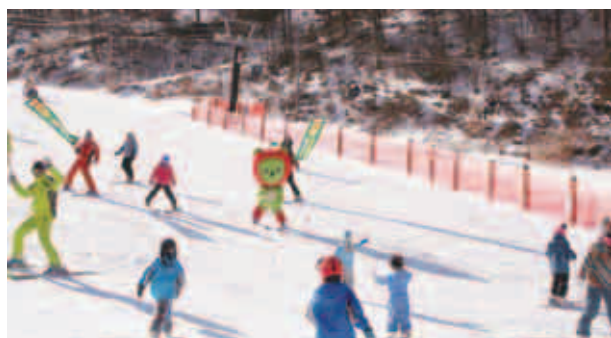
この日、お母さんが仕事始めのため、お父さんと一緒に来た5歳の東山千紗ちゃんと2歳の千咲ちゃん（踏入）は、「保育園では友達と練習したことあるの」と、羽根つきを楽しみました。体育館ではこままわし、お手玉などが、和室ではかるた、すごろくなども行われていて、昼食を食べて一日ゆっくり過ごす家族もいました。

小雪が舞う1月4日、上田創造館では恒例のお正月あそび大会が行われました。
3日間連続で開催される初日、偶然チラシを見た、けん玉の白石豊次5段（千葉）が来場。難易度の高い技を披露した後、子どもたちに技のコツを指導してくれました。昨年からは、日本けん玉協会の審査を受けると「級」認定書がもらえるのとあって、さらに参加者が増えたようです。
ボランティアの方々とこの事業に協力しているNPO法人信州未来広場代表理事・奥村直さんは、「三世代で遊ぶ、体を使い、手を使い、しかも安心して遊べる。おじいさんやおばあさんのすごさが発揮できる場ですね」と言います。



お正月あそび大会

伝承あそびを伝えよう！楽しもう！



昭和55年開所以来の大改修をした番所ヶ原スキー場が、昨年12月22日にリニューアルオープンし、これを記念して1月7日から9日までイベントが開催されました。改修したスキー場は、ペア乗車となったリフトを山際に移設し、初心者やファミリーにも喜ばれる1枚バーンの広いゲレンデとなり、キッズエリアも広々充実。また、駐車場からゲレンデまでの登り坂には、動く歩道を設置し、楽々とゲレンデに移動できるようになりました。

イベント期間中は、リフトの無料開放や先着100名に記念品の贈呈、宝探しゲーム、ゆるキャラと記念撮影、地元食材を使ったふるまい鍋などが行われ、延べ3,500人の来場者でにぎわいました。来場者は「動く歩道ができたので、スキーを担いで登らなくてよくなったのでありがたいよ」と話していました。

今シーズンからは、上田市民・練馬区民限定の割引もあります。ますます充実した武石番所ヶ原スキー場へ、ご家族みなでお出かけください。

武石番所ヶ原スキー場リニューアルオープン
広くなったゲレンデで楽しもう！



新成人代表の挨拶



平成24年
上田市成人式
上田市民会館会場



上田
市民会館

平成24年 上田市 成人式



1月8日、上田市成人式が市内7会場で開催され、平成3年4月2日から4年4月1日までに生まれた新成人1,571人のうち1,236人(78.7%)が出席しました。

会場では旧友や恩師との再会を喜んだり、写真を撮り合う新成人の姿が見られ、市、市教育委員会、成人式実行委員会が主催した式典は、式辞、中学時代の恩師からのメッセージ、代表者の誓いの言葉などが、実行委員の司会で滞りなく進行。新成人たちが、新たな誓いを胸に、成人としての第一歩を踏み出しました。



懐かしの映像に笑顔



塩田
公民館



上野が丘
公民館



実行委員の紹介



恩師と記念撮影

真田中央
公民館



丸子
文化会館



武石讃歌の斉唱



地域ごとの記念撮影



武石
公民館



上田
創造館



恩師との再会





友人の最後の言葉を胸に「追悼サッカー」を開催

情報提供／上田南FCスポーツ少年団

夜空に満天の星が輝く11月26日、第六中学校のグラウンドで、15歳で亡くなった細山裕貴君の「追悼サッカー」が開催されました。昨年6月2日に小児がんとの闘病の末、この世を去った細山君は、サッカーが大好きな少年でした。

当日は、彼が小学校時代に所属していた上田南FCのチームメイト、中学3年間ともに汗を流した塩田中学校サッカー部OB、一緒にサッカーを楽しんだ仲間たちと、保護者を含めた約110人が集まりました。

まずは、参加者全員で、細山君の遺影に淡いグリーンのカーネーションを献花し黙祷。その後、子どもたちは、細山君の南FC時代の「2」、塩田中時代の「10」の背番号と、彼の最後の言葉となった「CHALLENGE OK!」がプリントされたユニホームを着用し、試合に臨みました。

試合終了後、ご両親から「裕貴は最後までチャレンジし続けました。皆さんも辛いことから逃げずに、何度でも繰り返し挑戦し続けてください」という言葉をいただきました。

寒い夜でしたが、参加者それぞれが在りし日の細山君を偲び、サッカーを思いっきり楽しみました。



読者通信は、市民の皆さんからの話題提供や投稿でつづるコーナーです。

「広報うえだ」へのご意見・ご要望などをお寄せください。

郵送、電話、FAX、Eメール(koho@city.ueda.nagano.jp)で、秘書課まで。